



音楽運動



日本音楽協議会 〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町 3丁目 10-15 富士ビル 505号室 発行人 松本敏之
TEL 03-3221-1821 FAX 03-6369-3057 URL <http://nichionkyou.org> Email nichion@yomogi.or.jp



ピアノ伴奏：木下知久さん アコーディオン：熊谷均さん
(ともに秋田県支部)

『インターナショナル』ネット合唱を成功させよう！

●はじめての自撮り入門

☆自撮りに必要な機材<スマホ、PC、タブレットなど、直接ネットにつながる機材を2台準備するのが最も手っ取り早い>

①伴奏動画を再生する機材

・スマホ・PC・タブレット・携帯電話の録音機能、ボイスレコーダ、テープレコーダなどの録音機で伴奏動画を録音・再生でもOK

②自分の演奏を自撮りする機材

・スマホ・PC・タブレット・携帯電話の撮影機能、デジタルビデオカメラ(送信の際に、スマホやPCに画像を取り込む手間が必要)

☆自撮りの流れ<フローチャート参照願います>

☆自撮りのポイント

a 伴奏動画の音が大きすぎたり肝心の歌声が小さすぎないように、再生機材を遠くに、自撮り機材は近くに置くようにしましょう。伴奏動画の音が多少入っていても問題はありません。

b 伴奏を良く聞いてうたいたい、伴奏動画の音はいれたくないというかたは、イヤフォンの片側使用をお勧めします。片方の耳で音源を聞き、片方はイヤフォンを入れずに自分の歌声を自分の耳で確認できるようにしてください。※ヘッドフォンまたはイヤフォンで両耳を塞ぐと、音程が悪くなりやすいのでお勧めしません。

c 歌い始め、歌い終わりの長さは適当で結構です。不要な部分は編集でカットします。※途中から歌い始める、終わる、はNGでお願いします。

d 家や室内での自撮りが不可能な場合は、屋外でもOKです。風が強いと風音がノイズになりますのでなるべく避けてください。

●動画の送信方法、送信先については、日音協HP「はたらくもののインターネット音楽祭(仮称)」でご確認ください。URLは下記です。

<https://nichionkyou.org/inmusfes.html>

動画をインターネットメールで送る場合は、坂口副会長のメールアドレスあてをお願いします。

6月13日、14日に予定していた第53回はたらくものの音楽祭は、2021年に延期し、開催の変更も含めて関係支部と協議をはじめたところです。しかし、安倍首相は5月3日に感染症禍に乗じて憲法「改正」に意欲を示していると報道され、「STAY HOME」と言われる中でも創作にはげんでいる会員や仲間たちがいます。新しくつまれるうたに限らず、私たちは今、音楽で声をあげていく必要があるのではないのでしょうか。

このような趣旨で、音楽祭を開催するはずだった6月13日に、インターネットを活用して、仮称「はたらくもののインターネット音楽祭」として音楽を発信していきます。その概要を左記に示します。各サークル、会員のご協力を要請いたします。

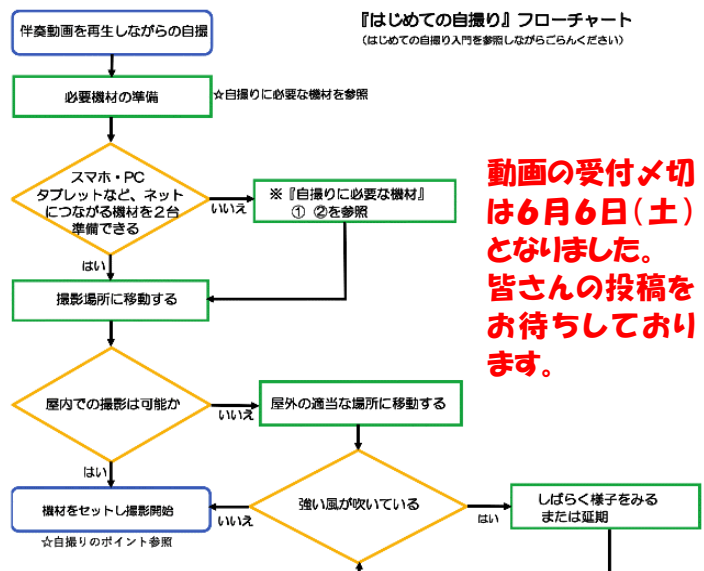
記

日音協は、2020年6月13日にインターネット(YouTube)上に①と②の動画をリンクづける形で公開します。

① 会員や日音協に協力くださっている仲間たちの演奏などの動画
② 「インターナショナル」の大合唱を会員や日音協に協力くださっている仲間たちのうたごえを集めて、日音協幹事会がパソコン上で作成した動画

※公開予定時刻 2020年6月13日13時
■インターネットURLは下記に掲載しました。

<https://www.youtube.com/channel/UC0IASQCnFe1Sbx52rnR92wA>



動画の受付メ切りは6月6日(土)となりました。皆さんの投稿をお待ちしております。

楽譜のかき方① シャープかフラットか (臨時記号)

大地のメロディ

詩・曲=桑野 功

北海道はブービーバンドの桑野功さんの名曲「大地のメロディ」の楽譜をご紹介します。1992年の自治労仲間のうたコンクールの入選曲で、1992年11月1日づけ『音楽運動』第305号からとってきました。「ところどころに置かれた#や♭がニュアンスに富んだ色合いを出し」と印牧真一郎さんが評しています。

この楽譜をじーっと見ると、2段目2小節目にラの♭があります。7段目2小節目にはソの#があります。譜面の左端に書かれた#や♭が曲の(またはAメロとかBメロとか言われる部分の)調性を表すのに対して、このように途中の音符に対してつけられる#や♭を「臨時記号」と呼びますね。ピアノに限らずほとんどの楽器で、ラの♭とソの#は同じ音ですよね。なぜ一方はラの♭、他方はソの#なのでしょう。#で表すか♭で表すかには、一定のルールがあるようです。

ときどき、臨時記号の#か♭か、このルールから見ると減茶苦茶な場合があります。とくに、MIDIエディタでつくった音源(ジェネラルMIDIファイル)を譜面描きソフトで読み込んで、そのままの場合、減茶苦茶な#、♭になるようです。

本を見ると、音程が上がっていくときは#、音程が下がっていくときは♭、と書いてあることがあります。確かに(例1)(例2)、今村一男さんの「ありがとう私のうた」の(例3)を見ると、臨時記号のつく音符のあとが上がっ

っているか下がっているかで、#、♭、となりそうです。ところが本をよく見ると、(例4)の場合は大きく見ると

上がっているので#、と書いています。少しややこしいですね。「大地のメロディ」の(例5)では、「大きく見ると下がっている」と言われても、なんだかマユツバのようです。

【楽譜を見てすぐにうたいやすい】

少し戻って、なぜ臨時記号の#か♭かにはルールがあるのでしょうか。ルールを違えると何が起こるのでしょうか。私はそれは、楽譜を見てすぐにうたいやすいかどうか、だと思います。現代音楽の複雑な#、♭の楽譜に慣れた人はともかく、私のような楽譜をようやく初見でうたえるかうたえないか、という人は、ラの♭で書くべきところをソの#で書かれると(例6)、戸惑ってすぐにはうたえません。

なぜ戸惑うのでしょうか。それは、(けして)「ひと」(りには)の音は、八短調音階(例7)からの一時的借り物であって、そのように意識しないとさとうたえない、ということだと思います。(例7)は念のためにいえば自然短音階(natural minor scale)です、このことはここでは詳しく書きません。

例7 八短調音階 (C minor scale)

他の調からの借り物、というのは、コードネームを見ると少しわかります。(例1)ではC7と書いていますが、C7はド・ミ・ソ・シフラットです。コードに詳しくない人にはごめんなさいですが、C7がド・ミ・ソ・シ♭であることを考えれば(かぜ)「に」(なる)はラの#でなくてシの♭だ、となります。(例8)にはE7と書いてあります。ミ・ソ#・シ・レですから、ラの♭ではなくてソの#だ、となります。

この理屈でいけば、Ddimはどうでしょうか。ここは少しややこしいことを言わなければなりません。ここは、前の小節のDmがレ・ファ・ラ・ドの和音であるのに対して、レ・ファ・ラ♭・ドの和音となっています。「Ddimはレ・ファ・ラ♭・シじゃないの?」と思う人がいますよね。そこはごめんなさい。説明が長くなるので思い切って省略してしまいます。ただ、F(ファ・ラ・ド)→Fm(ファ・ラ♭・ド)と同じようなこと、ということで説明に代えたいと思います。

(2面からつづく)

【ドのフラット、シのシャープ】

さて、「大地のメロディ」全体を移調してみましょう。曲の途中で（たとえばAメロとBメロとの間で）調が変わるのが転調、曲全体を上げてみよう、下げてみよう（カラオケ機にそういう機能がありますね）というのが移調です。もともとはハ長調（C Major）ですが、変ホ長調（E♭ Major）に移調して見ると、（例9）のようになります。

例9



ハ長調ではうの♭だった音は、ドの♭になっていますよね。「ドの♭は、シのナチュラルではないの？」と思うかも知れませんが、ハ長調のときにソの♯ではなかったのと同じ理由で、シのナチュラルではなくてドの♭です。

今度はホ長調（E Major）に移調してみましょう（例10）。

例10



今度はシの♯が登場します。これも同じことです。ピアノの白鍵はナチュラル、というのは、ハ長調（イ短調）のときだけのことで、ほかの調性では必ずしもそうではない、ということをお心にとめておきましょう。

【ダブルフラット、ダブルシャープ】

では、「大地のメロディ」を変二長調（D♭ Major）に移調してみます（例11）。

例11



♭が5個、あまり見ない調性です。（けして）「ひと」（りには）の音符に♭が2個ついてますね。これはダブルフラットと呼びます。ピアノでいえばうの白鍵にあたりますが、うのナチュラルではなくてシのダブルフラットで表します。理由はもういいですよ。

最後に、ロ長調（B Major）に移調してみます（例12）。

例12



♯が5個、やはりあまり見ない調性です。「からだじゅう」の音符の左に「X」のような印がついています。ダブルシャープといいます。ピアノでいえばソの白鍵にあたりますが、やはりソのナチュラルではなくてファのダブルシャープで表します。

ダブルフラットもダブルシャープも、そんなに多く使うものではありませんが、覚えておいて損はありません。

【臨時記号の数を増やさない】

♯にするか♭にするか、もっと手軽に考えることもできるかも知れません。それは、臨時記号の数を増やさない、という考え方です。（例6）を見てください。本来うの♭にすべきですが、仮にソの♯にすると、次のソの音にナチュラルをつけなければならなくなります。このように臨時記号の数が上がるのを避ける、と考えてもいいかも知れません。よく考えると、これは音程が上がっていくときは♯、音程が下がっていくときは♭、というのと同じ考え方だと言えます。

【小節線を越えたときの臨時記号】

ここまでの話と少し話題を変えて、小節線を越えたときの臨時記号について、書いておきます。

臨時記号がついたときは、同じ小節の中では改めて別の臨時記号（ナチュラルなど）がつかない限り、臨時記号が維持される、しかし小節線を越えると改めて元々の（楽譜の左端に書いてある）調性を表す♯、♭がいきる、ということはいいですよね。でもね、「大地のメロディ」の楽譜を見ると、例外がふたつ見えます。

例外のひとつめは、5段目3小節目（い）「き」（ているよ）の音符についたナチュラルです。これは、上に述べたルールからすると必要ないものですが、「ボ」についた♭の記憶にだまされて、♭にしてしまうのを避けるために、念のためにつけられたものです。「親切臨時記号」という言い方があります。

こういう場合、親切臨時記号にかっこをつけることもあります（例13）。

例13



例外のふたつめは、7段目3小節目の最初の音、歌詞欄には「ー」になっていますが、この音はソの♯です。なぜ♯をつけていないかというと、前の小節の最後の音（からだじゅう）「う」のソ♯の音符からタイで結ばれているからです。この場合、その次の（独立した）ソ♯の音符には臨時記号をつけることになります。小節線を越えてタイで結ばれるときは、前の小節の臨時記号がいきて新たな臨時記号はつけないのが標準のようだし、意見の分かれるところではありますが、私はこのようなときも親切臨時記号をつけたほうがいいのではないかと（例14）と思います。

例14

E7



（松本敏之）



メロディーに詩をつけてみよう

作曲: 甲斐文史

2020.06.01 JMC Aomori Branch

アベのやる事

詞 杉崎哲夫 曲 瓦井孔二

2020. 5. 17

5月に入って北海道の笠木さんから、報告メールが届いています。

笠木です。

■みなさんコロナの影に隠れて改憲を企む安倍は、なんて卑劣なヤツなんでしょう。火事場泥棒とは、この事です。

さて、かつて全電通の作家集団で活躍されてました守谷明宏さんからメールが届き、色々音楽情報をやりとりしているところです。

今回は、こんな youtube を送ってくれました。

<https://www.youtube.com/watch?v=miY5ZuB1lZM>

歌詞を自分たちのものに変えたり、採譜したり、歌ったり活用できるような気がします。

誰かチャレンジしてみませんか？

※オラシャーン（あきらめないぞ！）という歌の演奏です。何人かで日本語訳にチャレンジして何編か出来ているようですが、「世の中に出すにはまだ早い。もう少し熟考が必要だ」という段階だそうです。私も演奏に参加してみたいなと思える歌です。視聴してみてください。

（編集部・佐藤）

■FMカンパニーのメンバーを中心に、人形メーデー集会を開催した。この集会には、日本各地、全世界、天国からも参加している。ちなみに、岡山からボタさん、日音協中央から松本さん、京都から古川豪さん、天国からネマキさん、さらにフレディ・マーキュリーもかけつけました。はたして、誰がどこにいるか見つけられますか？



ブービーの人形工房職人の桑野功代表による作品
(3面にも拡大写真)

■日音協元事務局長の天羽憲治さんの作品「こぶしのうた」に出てくる花です。



復帰48年 5・15 平和アピール

新型コロナウイルス感染症と向き合い、その拡大防止のため生活を犠牲にしながらたたかっている県民の皆さん、全国の皆さん、そして平和を愛するすべての世界の人々に敬意を表します。今日は43回目の平和行進のスタートを予定していましたが、私たちが新型コロナウイルス感染拡大防止のため、県民や参加者のいのちを優先し、先達が築いてきた平和行進を中止いたしました。同時に5・15 平和とくらしを守る県民大会も中止をいたしました。県民大会の平和アピールにかえて、復帰48年目の5・15 平和アピールを発信いたします。

復帰48年目の沖縄は、安倍政権による暴政のひとつ、民意無視の辺野古新基地建設が強行されています。戦後75年を経た今日なお、巨大な米軍基地が横たわり、復帰前の米軍支配下と変わらず、陸も海も空も米軍優先がまかり通っています。昼夜問わず耐えがたい爆音が轟き、事件や事故は後を絶ちません。2004年の沖縄国際大学への米軍ヘリ墜落事故が如実に示しており、沖縄にはいまだ憲法など存在しない、行政も立法も司法も、その全権は米軍にあるとでも言わんばかりの米軍の横暴がまかり通り、米軍支配が現在も続いていること、そして日本政府が無力なことをあらためて表しました。

安倍首相は、「日本を取り戻す」とのキャッチコピーとは裏腹に、武器の爆買いにも象徴されるとおり、歴代首相では随一の米国一辺倒です。一方で、日米安保について歴代政権は、民主主義や人権など米国と共通の理念や価値観にたっているとしてきましたが、「米国ファースト」を掲げるトランプ政権の登場で今どうなっているのでしょうか。日米安保は本当に必要なのでしょうか。「核の傘」は必要なのでしょうか。

1972年5月15日、沖縄は日本に復帰をしました。県民の願いであった基地の「即時・無条件・全面返還」は受け入れられず、ときの総理佐藤栄作が約束した「核抜き・本土並み」さえも反故にされたまま5年を迎えた1978年に平和行進はスタートしました。私たちは平和行進で「復帰の内実」を問うてきましたが、その内実は、辺野古への新基地建設や最新兵器を使用した軍事演習、宮古島、石垣島、与那国島にいたる米軍と一体となった自衛隊及び自衛隊基地の増強と、ますます「軍事の島」の要塞化が推し進められています。一方で沖縄の内実を問うことと同時に、本土参加者と共に本土の現実も問うてきました。沖縄から安保がよく見えると表現してきましたが、今では全国で安保がよく見えます。それほど憲法は危機的な状況になっています。

私たちが復帰にめざしたものは、平和憲法下への復帰でした。そこには、基本的人権、国民主権、地方自治、なによりも軍備と戦争放棄が謳われています。今その憲法は、集団的自衛権の行使容認、安保法制、共謀罪など切り裂かれてきました。それでもまだ憲法は生きています。「政府の行為によって再び戦争の惨禍が起こることのないよう」に、沖縄から為政者に守らせなければなりません。

平和センターが参加をしている広島、長崎を原点とした原水爆禁止国民会議は、かねてより北東アジアの非核化地帯構想及び非核法の制定を提唱しています。かつて核の島とも言われたこの沖縄からその運動を大きくつづけていくことを誓います。5・15 平和行進は、九州全県を歩き、そして8月9日に長崎ヘタスキを渡す「非核平和行進」の出発でもあります。

今日の人類共通の敵が、新型コロナウイルスなど感染症とするならば、今人類がしなければならないことは、絶対に核軍拡ではありません。そここそグローバル化で立ち向かわなければなりません。核も戦争もない21世紀でなければなりません。

平和行進も昨年まで42回を数え、復帰後世代がその運営を担うようになっています。歩くことで知る沖縄があります。新たな県民運動の展開も期待されます。

復帰48年目に誓います。沖縄をアジアの軍事の要石から平和の要石へかえていくことを。それが県民の長年の希望であります。平和のための万国津梁の架け橋となることを。

2020年5月15日

5・15 平和行進実行委員会／沖縄平和運動センター



日音協沖縄行動（2019年）

「被爆75周年原水爆禁止世界大会」開催方法決定について（要旨）

原水爆禁止日本国民会議

記

I. 緊急事態宣言は解除されましたが、引き続き、都道府県をまたぐ移動については自粛要請が出されていますので、実行委員会開催のめどが立ちません。事務局で議論を進めさせていただきます。

II. 「被爆75周年原水爆禁止世界大会」は、「YouTube」を利用し、ネット配信することで開催します。

※ URLなど詳細につきましては、後日、「原水禁HP」に掲載します。

1. オンライン集会

- (1) 広島大会：8月6日（木）13：00～
- (2) 長崎大会：8月9日（日）13：00～
- (3) 福島大会：8月12日（水）13：00～

【内容】

- ① オープニング
- ② 議長挨拶
- ③ 現地実行委員会挨拶
- ④ 海外ゲスト挨拶
- ⑤ 被爆者等からの訴え
- ⑥ 高校生平和大使からの訴え
- ⑦ 基調提起
- ⑧ アピール採択
- ⑨ エンディング

2. 国際シンポジウム・高校生シンポジウム

- (1) 国際シンポジウム：8月6日（木）14：00～
 - (2) 高校生シンポジウム：8月9日（日）14：00～
- ※ 高校生シンポジウムは、生中継予定です。

3. 分科会企画

4. 広島・長崎・福島独自集会等

5. 被爆75周年記念事業

- (1) 「君たちはゲンバクを見たか」のリニューアル事業
- (2) 高校生「平和」の作文コンクール：詳細については後日連絡・発表します。

6. その他

(1) 折り鶴受け入れについて

① 今年は、広島・長崎事務局が、全国からの折り鶴を受け入れます。受け入れた折り鶴は、現地事務局と原水禁事務局が、責任をもって、しかるべき所へ届けます。

② 詳細については後日連絡します。

(2) 各都道府県のとりくみについて

① 今回、新型コロナウイルス感染症拡大防止等の理由により、原水禁大会はオンラインでの大会となりました。各都道府県の独自のとりくみについては、それぞれの判断で、創意工夫をもって実施してください。

② とりくまれた内容を後日ご報告ください。「原水禁HP」に掲載し紹介させていただきます。

水道橋 だより

▼官邸前反原発行動を自粛しているため、＜歌の力が物語るもの＞の固定欄はしばらくお休みとなります。▼音楽運動の編集も、全国の皆さんの行動が制限？されているためか原稿が集まらず結構苦労します。▼楽譜とか文字も小さく読み難いかとは思いますがご容赦願います。▼日音協幹事会もリモート会議で開催しています。工夫もしながら続けていきましょう。(佐藤)

▼『インターナショナル』ネット合唱の再生回数は、5月29日現在、木下さんのピアノ伴奏 only 131回、アコ付き 103 回合計 234 回です。伴奏を聞いてみただけの人もいるでしょうけど、この短期間これだけの再生回数ということは、皆さん気にしてくださっているものと期待します。そしてこの土日(30日、31日)で再生回数は急激にUPするものと思います。動画などは私宛てに送ってください。(坂口)



第52回はたらくものの音楽祭のDVD、ブルーレイが完成しました。

ディスク2枚組に大音楽会I・全国交流会・大音楽会IIを収録 1セット4000円

日音協会員は3000円(送料サービス)

DVD版とブルーレイ版があり、値段は同じです。



申込先 〒862 0916

熊本市東区佐土原1-8-45、1005号 山田 力

E-mail 4956foym@jcom.zaq.ne.jp

電話 090 4514 7398

2020年11月1日(日)開催予定 〈イットクフェス〉を希望の光に! 第二弾

イットクフェス 実行委員会は、参加ミュージシャンによるリレーブログを始めました。今月号では、その中からプロのミュージシャンで、以前に日音協とも関わりがあった中川五郎さんのブログを紹介します。福島県支部のVJ.kinこと菅井浩さん、東京都支部の森理子さんと息子さんとのユニット『Rico & Tatsu』他、のブログも掲載されています。こちらからは是非お読みください。 <https://ameblo.jp/ittokukun/> (坂口美日)

「This Machine Kills Fascists」

1940年代前半にウディ・ガスリーが世界で巻き起こるファシズムの嵐に抗おうと自分のギターに貼り付けた有名な言葉だ。直訳すれば「この道具はファシストたちを殺す」ということになるが、もちろん「道具」とはギターのこと、延いてはそのギターなどの楽器で奏でられる歌のこと、音楽のことになるし、ファシストもヒトラーやムッソリーニや当時の人間たちだけでなく、自由と人権を奪い、画一化の中へと、全体主義の中へと人々を追い込もうとする権力者や資本家全体を指す言葉として解釈できる。そして「Kill」という言葉も、単に物理的に殺すというのではなく、人間を人間と思わない政権や政治家、そうした考えの人間すべてに立ち向かい、打ち勝ち、壊滅させ、追放すると受け取るのが当然だろう。

そしてぼくは歌や音楽というこの「道具」は、国会の中でふんぞり返って、自由を奪い、人権を無視し、平和を脅かそうとする者たちを、直接的ではないにしても、じわじわと壊滅させる大きな力を持っていると信じている。その信念こそが人前で大きな声で歌うことへとぼくを向かわせるのだ。

「言っとくけど、俺の自由はヤツラにややらねえ!」

そうだ、絶対にやらないぞ。今年もイットクフェスに参加して、大きな声で歌えるのがとても嬉しい。(中川五郎)

プロフィール 1949年大阪生まれ。1960年代中頃、ウディ・ガスリーやピート・シーガー、ボブ・ディランなどアメリカのフォーク・シンガーたちの影響を受けて人前で歌い始めてから今年で53年。以前のイットクフェスで歌った自作曲「一台のリヤカーが立ち向かう」の中の「大きな世界を変えるのは/一人の小さな動きから」という言葉を信じて歌い続けています。今年は1968年のメキシコ・シティ・オリンピックで人権運動を支持してアスリートとしての未来を奪われたオーストラリアの200メートル競選選手のことを歌った「ピーター・ノーマンを知ってるかい?」という歌を中心にした新しいアルバムを作る予定です。

どん行

(131)

飯島貞親

い。い。は。る。い。緊。果、
の。こ。の。演。張、い。つ。も。よ。り
か。状。い。奏。感。の。あ。る。良。き。な。こ。と。も。あ。る。そ。う。だ。ひ。ど。い。指。揮。者。が。来。る。と。逆。に。こ。り。や。ま。ず。い。こ。の。ま。ま。で。は。大。変。な。こ。と。に。な。る。と。必。死。に。な。っ。て。演。奏。す。る。結。果、

府の対応が「後手後手」「場当たり的」と批判されてきた。対応をめぐり、世界の首脳6人の通信簿を決定力・実行力・情報発信力・責任感・市民の支持の5項目を各5点満点でつけたところ、安倍首相は「1」が並んで最下位評価となったとか。首相は専門家の意見も聞かず、内輪だけで決め唐突でぐはぐな対応を繰り返した。記者会見は相変わらずのペーパーを棒読み。陣頭指揮する東京都知事や大阪府知事など地方首長の方が存在感を増していた。▼よく組織運営はオーケストラの指揮者に例えられる。悪い指揮者とは「あらかじめ用意したことを言うだけで、オーケストラの音にตอบสนองせず、自分の世界観(音楽感)を主張する人」だそう。▼では、良い指揮者とは？「その人が指揮台に立っただけで、この人ならついていけると思わせる力量と人格を持つ。奏者への敬意があり、どんな小さな音も聞き逃さない」とのこと。▼だが、こんなこともあるそう。ひどい指揮者が来ると逆に「こりやまずい。このままでは大変なことになる」と必死になって演奏する。結果、緊張感のある良い演奏に仕上がっている。いまの日本はこの状態に近いのかもしれない。